

社会的側面

For the Society

私たちは社会と共生する
「良き企業市民」として
さまざまな企業活動を通じ
継続的に社会に貢献していきたいと
考えています。

INDEX

- 25 コーポレート・ガバナンス
- 27 お取引先の皆様とともに
- 28 地域社会の皆様とともに
- 30 社員とともに
- 35 株主・投資家の皆様と
ともに

内部統制システムの整備

取締役会・監査役会・会計監査人・内部監査部門・内部統制部門それぞれが有効に機能する体制を確立するとともに、コンプライアンスやリスクマネジメント、情報管理に関する規程を整備し全社的な取り組みを実施することで、内部統制システムの強化を推進しています。また、公正で健全な企業活動を遂行するために、グループの構成員として厳守すべき行動指針をアサヒウェイで定めています。

コンプライアンス

コンプライアンスは公正な企業活動を実現するための重要課題であると位置づけており、法令遵守および企業倫理の徹底に取り組んでいます。とりわけ、廃棄物の適正処理に関わる事業は環境関連法令や行政の許認可にもとづいており、社員一人ひとりが常に高い遵法精神をもって行動することが求められます。コンプライアンスに関する規程やマニュアルを整備するとともに、社員教育や社員相互コミュニケーションの場において一人ひとりの遵法意識の向上に徹底して取り組んでいます。



情報保護教育

内部通報制度

社内で違法、不当な行為などの問題を早期に発見し解決するために、「アサヒホットライン(内部通報制度)」を設けています。社外の法律事務所を窓口とし、匿名での申告も受け付けています。通報案件に関しては、申告者や被申告者のプライバシー保護に配慮した上で調査・是正措置を講じる体制を整備しています。

リスクマネジメント

企業活動上に顕在・潜在するさまざまなリスクを適切に管理するために、総合的な視点でリスクを把握し、評価および対策を実施しています。リスクマネジメントを推進することで、リスクの発生を未然に防止するとともに、危機に発展した場合の損失を最小限に止めるよう努めています。

事業継続計画 (BCP)

大規模災害などのさまざまな要因によって当社グループの事業継続に必要な機能が低下するリスクがあります。被害があった場合も早期に機能復旧をめざすためのアクションプランとして事業継続計画を策定し、以下のような施策を推進しています。

- ・主要工場への自家発電機導入による補助電力確保
- ・工場設備の運転時間調整やオフィスでの節電によるピーク電力抑制
- ・サーバーなど情報システムのバックアップ強化
- ・一部生産、処理工程の分散化(複数拠点による相互補完)
- ・機器設備類の耐震性強化
- ・化学物質等の漏液、拡散を防ぐための設備強化
- ・グループ全拠点(43ヶ所)での飲料水、食料等の備蓄
- ・安否確認、緊急連絡網の整備

コンフリクトメタルの取り扱い

アサヒプリテックはコンフリクトメタル(紛争鉱物)の取り扱いに関し、以下のように基本方針を定め、当該業務に従事する経営者、社員に周知徹底しております。

コンフリクトメタル(紛争鉱物)の取り扱いに関する基本方針

1. コンゴ民主共和国およびその周辺の紛争、人身売買、奴隷、強制労働、児童労働、虐待、戦争犯罪などの非人道的行為、テロリスト活動、マネーロンダリングなどの不正行為に関わる金含有物を購入または、使用いたしません。

2. OECD (Organization for Economic Co-operation and Development) ガイダンス、LBMA (The London Bullion Market Association) ガイダンス、EICC-GeSI (Electronic Industry Citizenship Coalition, Incorporated and Global e-Sustainability Initiative) ガイダンス、あるいは他のコンフリクトメタルを完全に排除するガイダンスに準拠し、以下の5段階の枠組みによりコンフリクトメタルを管理いたします。

- (1) コンフリクトメタル管理システムの構築
- (2) サプライチェーンにおけるリスクの識別と評価
- (3) 識別されたリスクへの対応策の策定と実施
- (4) 管理システムと実施状況に対する第三者監査の実施
- (5) 本基本方針とその実施状況に係る報告書の公開

お取引先の皆様とともに

「お客様第一主義」を合言葉に、お取引先の皆様の幅広いニーズにきめ細かく対応できるよう努めてまいります。

お客様サービス向上への取り組み

●お客様満足度調査

定期的に「お客様満足度調査」を実施しています。当社の営業活動全般の満足度を調査し、回答結果をもとに問題点の改善を行っています。今後も定期的に調査を行い、お客様の満足度向上に取り組んでいきます。

●公正取引に関する取り組み

当社グループはアサヒウェイ(3頁参照)の中で、「公平な競争を阻害する行為の禁止」、「お取引先の情報や技術等の機密保持」、「不適切な利益授受の禁止」などを定め、公正取引や企業倫理の遵守を徹底しています。

品質保証体制

アサヒプリテックでは品質保証部門が中心となり、営業部門、技術開発部門、製品製造部門が合同で「品質保証会議」を開催しています。この会議を通じてお客様の声や市場の動向などを共有化し、お客様満足度の向上に取り組んでいます。

また、お客様により安心・満足していただける製品を提供するためにISO9001を取得し、品質マネジメントシステムの継続的改善・品質の維持向上に努めています。2010年3月には、ISO9001取得4拠点の認証を統合し、全社一体となった品質管理システムの運用を開始しました。

さらに当社はグリーン調達や欧州の化学物質規制法であるRoHS指令、REACH規制にも配慮し、環境負荷低減や有害物質の拡散防止に努めています。



ISO9001 認証書

ISO9001 認証取得

アサヒプリテック(株)
テクノセンター
福岡工場
愛媛工場
埼玉工場

情報漏洩に対する危機管理体制

営業員が使用しているパソコンにはロック機能などのセキュリティ対策を施しており、万が一パソコンの紛失や盗難にあった場合でも、容易に操作ができないようにしています。また、埼玉・尼崎に設置しているリサイクルセンターでは2011年3月にISO27001を取得しました。パソコン廃棄にともなう情報漏洩対策としてデータ消去サービスを行い、事業活動を通じて情報保護に貢献しています。



専用ソフトによるデータ消去

地域社会の皆様とともに

全国で事業活動を展開している当社にとって、地域の皆様からのご理解とご支援は不可欠です。企業市民として社会と共生する企業であり続けるために、さまざまなかたちで地域に根ざした活動を行ってまいります。

活動事例紹介

●環境美化への取り組み

1988年以降毎年、阪神間唯一の自然海岸である須磨海岸を清掃する活動に参加しています。兵庫県産業廃棄物協会主催の地域住民・事業者・学校・行政が一体となり行われるボランティア活動であり、当社からは近隣拠点に勤務する社員が参加します。家族ぐるみで参加する社員も多く、和気あいあいとした雰囲気の中で清掃活動を行っています。



●神戸経済同友会の森プロジェクト

神戸経済同友会主催のボランティア活動である「神戸経済同友会の森プロジェクト」に参加しています。この活動は5年間を通して森づくり活動を支援するもので、参加企業の社員が森林整備や自然観察会などを行います。六甲山系の再度山でのボランティア活動（選木の上、間伐・除伐）など今後も継続的に活動を行います。



●こどもエコクラブによる工場見学の実施

こどもエコクラブは、こどもたちが仲間と一緒に楽しみながら、体験を通して環境について学び、環境を大切にすることを支援するために、環境省が提唱している事業です。

アサヒブリテック北九州工場は、北九州市こどもエコクラブの小中学生を招待し工場見学を実施しました。見学を通じて、廃棄物の分別の必要性と社会生活に伴い発生する廃棄物が日々どのように処理されているのかについて理解を深める良い機会となりました。



事業活動を通じた社会貢献

財団法人8020推進財団の8020運動（80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動）の趣旨に賛同し、活動支援を行っています。

また当社は、日本口唇口蓋裂協会等のボランティア団体が実施している医療援助活動の趣旨に賛同された歯科医院から撤去冠を回収し、金・パラジウムなどの貴金属にリサイクルしています。それらの貴金属の売却を通じて得られた純益が各団体の活動資金として役立てられています。



©V. Dupont/世界の医療団
世界の医療団による医療支援（スマイル作戦）

<当社が活動協力している主な団体>

● 財団法人8020推進財団



● 特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会

（口唇口蓋裂など、口に障がいを持つ子供たちへの医療援助）



● 特定非営利活動法人

メドゥサン・デュ・モンド ジャパン

（戦争・自然災害などで苦しむ人々への医療援助）



世界の医療団
メドゥサン・デュ・モンド

TOPICS 1

TOOTH FAIRY（歯の妖精）プロジェクトへの参画

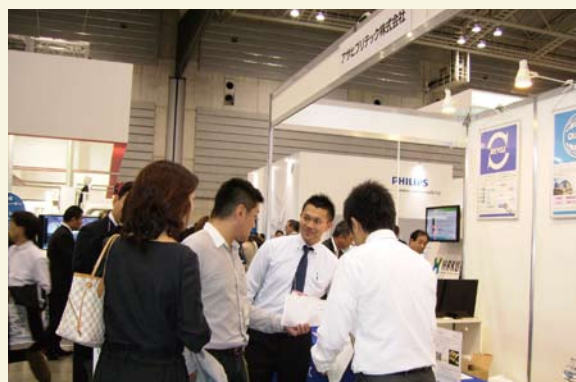


日本財団と日本歯科医師会の協力により推進されている社会貢献プロジェクト「TOOTHFAIRY（歯の妖精）」では、全国の歯科医院における治療で役割を終えた金属をリサイクルし、内外の子供たちやその家族の支援を行っています。当社は金属リサイクルの協力企業として、同プロジェクトの運営に参加しています。プロジェクト活動としては、難病や重い障害に苦しむ子供たちやその家族の支援施設「海の見える森」や、家族が一緒に住み生活することができる小児がん化学療法ハウス「チャイルド・ケモ・ハウスー夢の病院」の設立に寄与しております。海外ではミャンマーに学校を建設し、貧しい子供たちの教育支援を行っています。

TOPICS 2

「東京デンタルショー」に出展

11月に東京ビッグサイトで開催された「東京デンタルショー 2011」に出展しました。ブースでは、歯科業界の方々に当社の歯科材料分野におけるリサイクル技術や製品に関する情報発信を行いました。これら専門展示会への出展を通じて、当社事業活動の紹介とともに資源リサイクルの重要性を広めています。



社員とともに

個性を尊重し仕事を通じて自己を磨き、生きがいと連帯感のある明るい職場を形成することをめざしています。また、一人ひとりが持つ強みを最大限に引き出し仕事に活かせるよう、また社員が自分の仕事に「やりがい」「働きがい」を持って取り組めるように、さまざまなサポートを行っています。

安心して働ける環境づくり

ワークライフ バランス

やりがいのある仕事と充実した私生活のバランスをとりながら、持っている能力を最大限に発揮して人生を送ることは、社員だけでなく会社にとっても大事なことです。私生活において重要なものは、家庭や健康、スポーツや趣味など個人の価値観によってさまざまです。当社は、社員が私生活と仕事のバランスをとれるようにサポートしています。

●社員総会の開催

社員総会を毎年開催しています。社員総会ではトップメッセージ、前期実績に関する説明と当期重点課題の発表や、経営陣と社員のディスカッションなどを行っています。



社員総会

●メンタルヘルスケア

現代社会は、職場や生活に関する不安や悩みによるストレスが蔓延しているといわれています。

当社では、社員の生産性や活力の向上には心の健康が不可欠であると考え、メンタルヘルス専門の産業医と連携し、個別相談会や予防セミナーを実施しています。また、医学的見地から健康増進に関するセミナーも随時実施し、総合的な健康管理に努めています。



個別相談会

●健康管理体制への取り組み

法で定められた定期健康診断（生活習慣病予防健診、特定業務従事者健診、一般健診など）と健康リスクが高まる45歳以上の全社員と管理職全員を対象に「人間ドック健診」を実施しています。また、受診対象者からの要望により、脳ドック、がんの早期発見を目的としたPET検診の受診もサポートしています。

受診率は100%で、会社と社員双方が健康増進、疾病の予防と早期発見に取り組んでいます。



メンタルヘルスマネジメント研修

●自己申告制度

全社員が年に1回、申告書に記載された仕事上の能力発揮度、適性、やりがい・達成感、人間関係・職場の雰囲気等の各項目に関して自己評価を行い、自らが希望するキャリアプランも記入します。また、チェックリストによる疲労蓄積度自己診断も申告書内で実施しています。

各自が申告書を直接人事部に提出し、人事部は申告内容をもとに担当役員や上司とともに、人員配置の見直し、職場の雰囲気の改善や各自のやりがいを促しています。

●全社員インタビュー

3年に1回、全社員を対象に個人面談を実施しています。面談では、現状の職場環境や仕事内容について丁寧なヒアリングを行い、社員一人ひとりのワークライフバランスを考慮した勤務環境の改善に向けて、適正な業務量と勤務時間となるよう指導を実施しています。

●社員意識調査

3年に1回、全社員を対象に「意識調査」を実施しています。この調査は職場、仕事、上司、会社に関する社員の満足度や意識・価値観、企業風土の認識を客観的に把握するために行っており、調査結果を組織と人材のさらなる活性化に役立てています。

●海外で活躍できる環境づくり

海外赴任者・出張者向けの語学研修を実施するなど、社員が海外で活躍できる環境づくりを行っています。



中国語講座 (テクノセンター)

●障がい者雇用

障がいを持つ社員が健常者と同じ職場で各種業務に従事しています。



尼崎リサイクルセンター

●育児介護休業制度

出産や育児、家族の介護などと仕事との両立を支援しています。育児介護休業制度にある短時間勤務等により、社員のライフスタイルに合わせた働き方をサポートしています。

●リフレッシュホリデー

入社2年目から毎年、3～5日の連続休暇を取得する制度で、土日を含めると9日間連続の休暇が取得可能となり、家族との旅行や趣味に利用しています。



●社内クラブ活動支援

野球部やフットサルなどのクラブ活動を通して、職場の同僚や取引先とのコミュニケーションを図っています。



人材育成

人材育成に関する考え方

社内のいかなる階層・職種にあっても専門性を重んじたプロフェッショナル人材であることをめざし、独自の資格制度や社内教育カリキュラム、またASG活動とよばれる自発的な小集団活動などを実施しています。さらに、社員一人ひとりの業績貢献度を公平、公正に評価する成果主義人事制度を核に、チャレンジ精神を持った人材育成に努めています。

●社員研修制度

入社時期の習熟度に合わせた研修（入社時研修・ステップアップ研修・パワーアップ研修）と階層別の選抜型人材育成研修（ジュニアリーダー研修・マネージャー研修・リーダー研修）を実施しています。そのほか、部門別研修や技

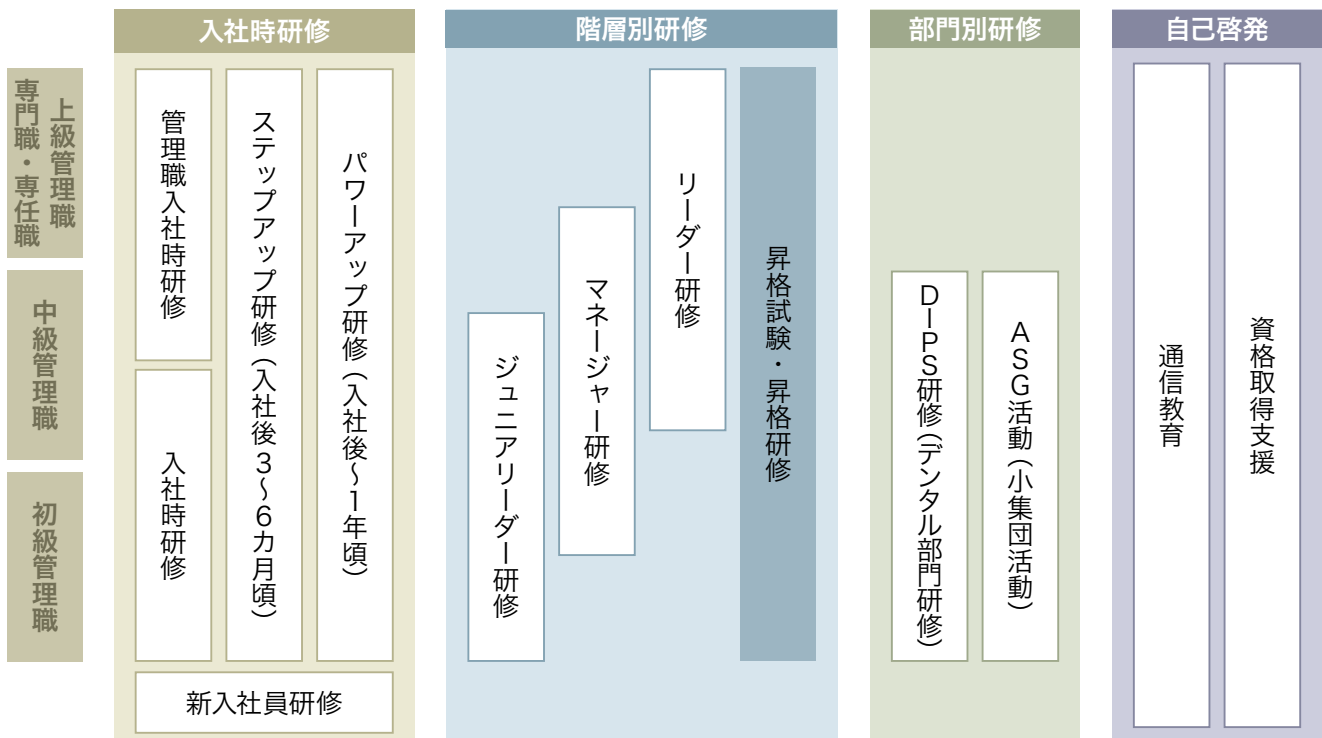
能教育を通じて、個人がプロフェッショナル人材として必要な実務知識を習得し、専門能力を培っていくことができる研修プログラムを設けています。



ステップアップ研修



パワーアップ研修

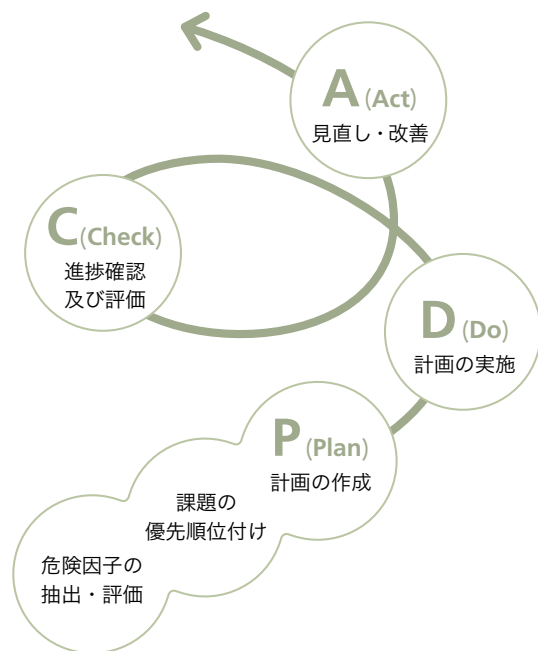


安全衛生活動の推進

OSHMSへの取り組み

労働災害を減少させるには、職場に潜在する無数のリスクに着目し、事前にリスクを減少させ、労働災害の芽を摘み取ることが重要です。当社は、労働安全衛生マネジメントシステム（以下、OSHMS*）の考え方を取り入れ、リスク低減による職場の安全衛生水準の向上をめざしています。

当社のOSHMSでは、危険・有害要因の評価をもとに『計画を立て』（Plan）⇒『計画を実施し』（Do）⇒『実施結果を評価し』（Check）⇒『評価をふまえて見直し、改善する』（Act）という一連のサイクル（PDCAサイクル）を繰り返し実施することによって、職場のリスクを低減することを基本としています。



* : Occupational Safety and Health Management System

環境安全教育

環境安全教育は、社員研修制度の「人材育成プログラム」のなかで実施しており、安全に仕事を行うための心構えや、危険物の基礎知識などを教育しています。また、このなかでは「就業中に火災が発生した場合にどう対応するか」などの具体的な緊急事態を想定して、グループ討議を行うロールプレイ形式の教育も取り入れており、各人が実際の現場で取るべき行動を正しく認識できるよう工夫しています。



環境安全教育

現場サポートにおいては、安全衛生に関する専門スタッフにより、営業・工場現場でのOJTを実施しています。作業員・担当者への安全指導により、職場環境安全衛生の向上を図っています。



工場研修

緊急事態の対応

安全対策として、事業活動上のリスクを洗い出し、拠点ごとに「安全推進責任者」を決定し、予防策を講じるとともに、万が一問題が起こった場合には、迅速に対応する体制を整えています。

また、緊急事態発生時の社内外への対応として「緊急事態対応管理マニュアル」を完備し、かつ、事故・災害発生初期の対応要領を記載した「事故・災害対応の手引き」を全員に配布しています。

小集団活動による 活力ある職場形成

同一職場内の社員による自発的・主体的な参加のもと、ASG活動（Asahi Small Group活動）を行っています。活動を通して創意工夫を行い、職場内の問題解決を図っています。優れた取り組みを行ったグループには社員総会で表彰を行っています。

安全活動に対する表彰制度

毎年、安全管理に貢献した事業拠点や社員を対象に社員総会場で表彰を行い、安全意識の高揚に努めています。



安全表彰

INTERVIEW

ASG活動に参加して

北九州事業所では、九州エリアのみならず全国から搬入されるさまざまな廃棄物を処理しています。廃棄物の中には有害成分を含むものや取り扱いに特別な注意が必要なものがあります。そこで、それぞれの廃棄物の成分や特性、取り扱い方法等の情報をとりまとめ、廃棄物に特化したイントラネット百科事典を作りました。

現在この百科事典は、新任者の教育のために役立っていると同時に、廃棄物の受け入れ時や処理工程で必要な情報を効率よくスピーディーに収集するために活用されています。廃棄物に関する有用な情報を全員で共有することで、焼却炉内で起こる化学反応や発生事象への理解が深まり、さらに安定的な操業が可能となりました。

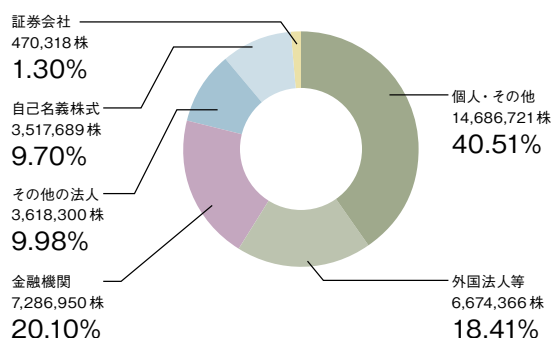


ASG活動 北九州事業所
グループリーダー 田原 啓光

株主・投資家の皆様とともに

成長戦略を積極的に推進し、事業の発展を通じた企業価値の向上と安定的な株主還元を努めています。

●所有者別株式分布状況

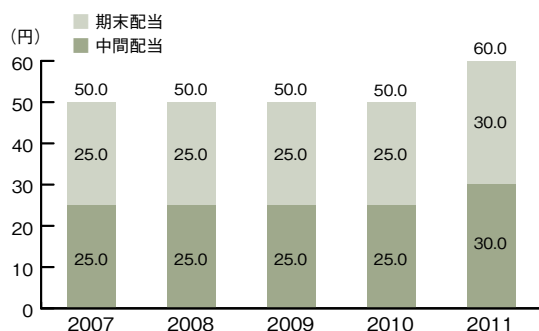


2012年3月31日現在

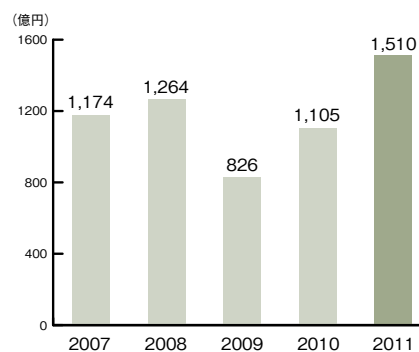
株主還元の基本方針

当社は、企業価値の持続的向上のため、収益基盤の充実を図りながら、成長戦略投資を行ってまいります。その成果配分におきましては、配当性向などを指標として、安定的な配当を実施することで、株主の皆さまへの利益還元を実現してまいります。

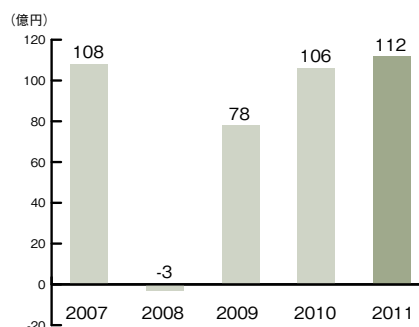
●1株あたり配当金



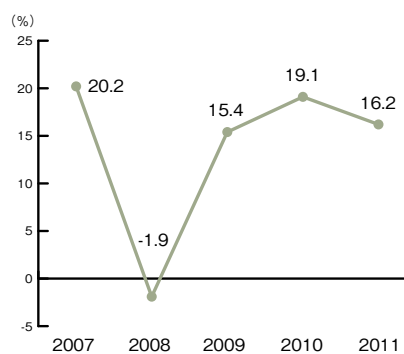
●売上高



●営業利益



●株主資本配当率 (ROE)



●自己資本比率

